



114  
A 798  
13

極秘 第一種

陸軍部 權第九七號ノ一三

明治三十一年八月廿九日馬尼刺發

陸軍砲兵大尉時澤右一第百一報告

メリックト總督ハ平和条約訂結委員ヲ命セラレ  
明朝当地出發巴理ニ向ス(香港ハ寄港)  
明日相島澎湖島ハ向ス当分帝國軍艦ナシ  
米及間ノ情况ハ変ラズ  
西班牙コヒヤス群島總督リヨス將軍(馬尼  
刺封鎖后西班牙ヨリ特ニ任命セラレ其政廳ヲ  
ロイロニ四週キテ)菲律賓賓群島總督ニ任セラレ  
トノ説成ニ行ハルレドモ虚傳ナリ

(終)

265  
5-14



明治三十二年八月十九日馬尼刺發  
陸軍砲兵大尉時澤右二第百二十二報告

一、マニラに將軍明三十一日午前「チャイナ」號に搭シテ  
香港ニ向テ用向キ、米西平、和条約委員トシテ佛  
國巴理ニ到ルナリ  
同將軍十日ク用事終ラ、再ビ当地ニ來ル可シ巴理  
着、十月月上旬ナリト  
米西平和条約、確定スルハ十月下旬乃至十一月上旬  
ナラン乎、猶ホ本月十二日突倫敦電報ニ「連クモ十  
月一日迄ニ五人ノ委員ヲ選ビ云ト」言ハル項、御參照  
アリタシ  
二、及徒ガ我日本ニ依頼スル事、實ニ争フ可ラズ、近來種々

人物ニ接スルニ後ニ愈其事實ナルヲ確得タリ此除  
我國ニ於テ施設スル所アラント欲ヒバ或ハ傳功ヲ收メ  
得ベシ後來菲律賓賓對スル我態度ハ余リ袖手  
傍觀ニ過ギ今日ハ既ニ時機ヲ失ヒタルノ感アリト至  
モ未ダ遲シト爲サズ蓋シテ爲スハ尚ホ爲サザルニ勝ル  
三 今日及後ノ首領等ガ憂慮スル所ハ米國ノ處置  
如何ニ立リ及後ノ有力者等ハ日ク日本若シテ少シク  
我ヲ助ケバ今日ハ如ク心配ノ位置ニ出會スルコトナク容  
易ニ獨立ヲ得タリシナラシキ事ナラズ茲ニ出テサリシハ吾  
人菲律賓賓人ノ不幸ナリ云々

四 今日及後ノ意向ヲ概言スルハ左ノ如ク  
甲 最モ希望スル所ハ絶体的獨立ニシテ止ラ得ズニ  
或ル条件ヲ約シテ漸日テク米國保護ノ下ニ獨立

立セシ  
乙 同ジク保護的獨立ナラバ日本ヲ保護者ト仰グ  
ニ若カス然レモ日本ハ容易ニ動カザルベキヲ以  
テ殆んど望ミナシ  
丙 再ビ西班牙ノ版圖ニ歸セバ之ヲ撃破スルハ容易  
ナルヲ以テ却テ望ム所ナリ然レモ一方ニハ獨  
佛等ノ吞噬ニ逢フノ恐レアルヲ以テ日本ノ如キ友  
國ト結ブラ必要トス  
丁 目下ニ處シテハ米國トノ衝突ヲ避ケ西米条約確  
定ノ景況ヲ視ルニ如カズ  
五 メリツト將軍ニ請フテ米歩兵ノ武器被服裝具一  
式ヲ得テ参考ノ爲メ歸朝ノ節携へ還ル可シ  
(終)

